令和７年度

# 大阪大学
# 総合型選抜・学校推薦型選抜
# 解答例又は出題の意図

## 小論文（外国語学部）

令和７（2025）年度　外国語学部総合型選抜　出題の意図

Ⅰ

問１

言語が衰退し、「死んでいく」原因を考察させる。

感染症や自然災害などもあり得るが、歴史的には戦争での敗北や植民地化などによって、支配者の言語を押し付けられる場合がある。

また、支配－被支配の関係に起因して使用言語の切り替えがおこって消滅する場合がある。筆者が説明している内容を読み取れているかをみる。

問２

「三つの異なる録画」は、言語が消滅する様子を象徴的に表している。下の世代がより威信の高い言語を求めるため、祖父母の代の言語が失われていく。祖母と孫が、お互いの言語で意志相通ができなくなっている場面が、言語の消滅を示唆していること、さらに、読者がその消滅について体験し、考える余地を残すために、このエピソードで唐突に締めくくられていると考えられることなどが読み取れているかをみる。

問３

多言語状況や多言語使用について、自分の体験や知識など具体的な事例が書けているか、また、それをもとに、自分の考えを深めることができているかどうかをみる。

Ⅱ

「コスパ」に続き「タイパ」という言葉が生まれ、とりわけ若い世代で、効率性や生産性ばかりが重視される現代社会において、五味の辞書論「99%の無用」は正反対の方向を志向するものである。現代を生きる受験生たちがこの五味の主張をどう理解し、どう考えるかを問うことによって、読解力だけでなく、想像力・創造力・表現力をみる。